

隅田八幡神社

九世紀からこの場所には神道における戦の神・八幡を祀る神社がありました。本殿に続く参道には優美な門があり、その天井には龍が描かれています。本殿そのものは、八幡以外の神を祀っている小さめの摂社に囲まれています。

5世紀頃につくられた隅田八幡神社の銅鏡は国宝に指定されています。実物は現在東京国立博物館に展示されており、神社には大きなレプリカが展示されています。

48字の漢字が刻まれたこの鏡は、日本において中国から伝来した漢字を使用し始めた時期について研究者に知見を与えたきわめて重要な史料です。鏡の漢字うち数文字は逆になっており、この鏡を鑄造した職人がこの種の書き文字にまだ不慣れだったことを示しています。